

# 平成 26 年度国際知財委員会 インドネシア現地調査報告書

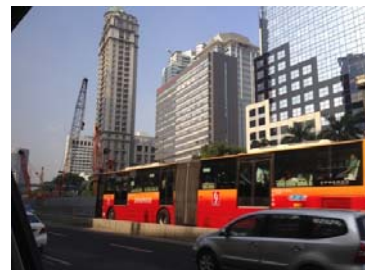
平成 26 年 12 月 10 日作成  
国際知財委員会委員長 石川 崇朗

平成 26 年度国際知財委員会において実施したインドネシア現地調査について下記のとおり報告します。

## 記

### 1. 調査概要

- 基本日程： 11 月 3 日（月）～7 日（金）  
基本行程： 中部→成田→ジャカルタ→成田→中部  
調査要員： 石川崇朗（委員長）  
木村誠司（副委員長 特許担当）  
中嶋恭久（ 意匠担当）  
前田大輔（副委員長 商標担当）  
瀧川彰人（副委員長 著作権担当）  
奥村徹（副委員長 ASEAN 担当）  
訪問先： インドネシア特許庁 クニンガン庁舎  
インドネシア特許庁 タンゲラン庁舎  
AMBadar & Partners（現地事務所）  
SKC Law（現地事務所）  
Biro Oktroi Roossene（現地事務所）  
AFFA（現地事務所）  
ジェットロ・ジャカルタ事務所  
マンガドゥアモール（商業施設）  
モールブロックM（商業施設）他



## 2. 企画趣旨

中国一辺倒の危機感からチャイナプラスワンとして脚光を浴びる東南アジアの国々の中で、生産拠点としてだけでなく製品およびサービスの市場としても注目されるインドネシア。自動車産業を始めとしてインドネシアに関心を持つ日系企業が増えているにもかかわらず、我々、弁理士にとって、インドネシアは、まだまだ馴染みの薄い国である。そのため、日本に居ながらインドネシア知財に関する基本的な情報をウェブサイトや書籍などから得ることができるものの、その中には真偽が錯綜している情報もあり、現地において多方面から情報を収集する必要があった。また、経済発展著しい首都ジャカルタの情勢や、日本とは全く異なる文化および国民性を目の当たりにすることによって、これまでに得た情報についての理解を更に深めることが期待された。

なお、企画当初では調査要員を5名で計画していたが、作業負担の関係から意匠担当を兼任から専任へと変更すべく調査要員を1名増員した。宿泊先および行程の見直しを図ることによって、調査要員を増員しながら予算内での現地調査を実現した。

## 3. 訪問先の概要

(1) ジェトロ・ジャカルタ事務所

日時：11月3日（月）11:00～13:00

出席者： ジェトロ 鈴木光夫氏

石川、木村、中嶋、瀧川、奥村

概要：ジェトロの海外ブリーフィングサービスを利用し、インドネシアの一般経済事情やビジネス環境について情報提供を受けた（詳細は各委員の個別報告書を参照）。



(2) AMBadar & Partners (現地事務所)

日時：11月4日（火）10:00～13:00

出席者： Nadia Am Badar (IPR Consultant)

Endang Sukowati (Senior Counsellor)

Rochmali Zultan (Advocate, Head of Legal Dept.)

Agus C. Suratmaja (Strategic Management)

石川、木村、中嶋、前田、瀧川、奥村

概要：当事務所は、1965年設立の老舗事務所であり、その知財出願取扱件数はインドネシア国内トップである。現在、ジャカルタ中心部に自社ビルを建設中

であり、その近くの仮オフィスにおいて、事前に送付しておいた質問リストに対して回答を受けた（詳細については各委員の個別報告書を参照）。当日は、ランチおよびディナーに招待いただき、相互の親睦を深めた。



### （３）SKC Law（現地事務所）

日時：11月4日（火）14:00～17:00

出席者： Nidya Kalangie (Partner)

Andrew Conduit (Solicitor, Foreign Advocate)

石川、木村、中嶋、前田、瀧川、奥村

概要：SKC Lawは、3年前に設立された比較的に新しい事務所であり、ジャカルタ南部クニンガン（特許庁の近く）にある巨大な複合商業施設 Kuningan City のオフィスビル AXA タワー内にオフィスを構えている。Andrew氏は、オーストラリア弁護士であり、日本語を話すこともできる。ミーティングでは、日本の知財情報についてレクチャーを行った後、事前に送付しておいた質問リストに対して回答を受けた（詳細については各委員の個別報告書を参照）。



### （４）インドネシア特許庁 クニンガン庁舎

日時：11月5日（水）9:00～12:00

出席者： 特許庁 Luis プロモーション協力部長の他、総務室長、審査部長など総勢 20 余名

Biro Oktroi Roossene Migni, Toeti, Harry, Heri, Krisna 他  
通訳 Salim

石川、木村、中嶋、前田、瀧川、奥村

概要：インドネシア特許庁（正式にはインドネシア知財総局（DGIP））のクニンガン庁舎は、2013年11月から開設された新しい庁舎である。2014年中に全ての部門が郊外のタンゲラン庁舎から市内のクニンガン庁舎に移転する予定である。訪問時点では、管理部門および出願受理部門のみがクニンガン庁舎への移転を完了しており、審査部門はタンゲラン庁舎に残っている状態であった。インドネシア特許庁への訪問には、後述の現地事務所 Biro Oktroi Roossene による多大な協力（通訳の手配を始め、会議中の菓子類や特許庁参加者に配布された弁当の準備などを含む）によって実現することができた。通訳の Salim 氏によれば、インドネシア特許庁側の参加者は、昨年日本特許庁が訪問した際よりも多いとのことであった。会議では、通訳を介してのやり取りであったため、多少もどかしい場面もあったが、現地代理人を介しては得られない貴重な情報を入手できた（詳細については各委員の個別報告書を参照）。会議終了後には、タンゲラン庁舎の1階にある出願受付窓口を視察した。



（5）Biro Oktroi Roossene（現地事務所）

日時：11月5日（火）14:30～17:00

出席者： Migni Myriasandra Noerhadi

Toei

Harry

Heri

Krisna

通訳 Salim

石川、木村、中嶋、前田、瀧川、奥村

概要：当事務所は、1951年設立の老舗事務所であり、ジャカルタ南部（特許庁より幹線道路を挟んで南側の区域）における大使館街の一角にオフィスを構えている。特許庁訪問後に近くのモール内のレストランでランチを一緒にとった後、当事務所の会議室にて、事前に送付しておいた質問リストに対して回答を受けた（詳細については各委員の個別報告書を参照）。



#### （6）インドネシア特許庁 タンゲラン庁舎

日時：11月6日（木）10:00～12:00

出席者： 特許庁 審査部長、審査官、捜査官など総勢10余名

Biro Oktroi Roossene Migni, Toeti, Harry, Heri, Krisna 他  
通訳 Salim

石川、木村、中嶋、前田、瀧川、奥村

概要：インドネシア特許庁のタンゲラン庁舎は、昨日のクニンガン庁舎とは異なり、ジャカルタ市内から西に向かった郊外に位置し、当日はジャカルタ市内から車で片道1時間半を要した。渋滞が酷い場合には、片道3時間を要する場合もあるそうである。タンゲラン庁舎には審査部門および侵害捜査部門が残っていることもあり、審査実務および捜査実務について昨日よりも更に踏み込んだ情報を得ることができた（詳細については各委員の個別報告書を参照）。なお、お金の話題はタブーであるかと思っていたが、その話題が一番盛り上がったのには予想外であった。会議終了後には、商標審査部門の全フロアを見学させていただいた。



(7) AFFA (現地事務所)

日時：11月6日(木) 16:00~18:00

出席者： Achmad

Yuniati

Ira

Emirsyah

石川、木村、中嶋、前田、瀧川、奥村

概要：当事務所は、16年前に設立された事務所であり、ジャカルタ東南部の幹線道路沿いにあるビルの15階にオフィスを構えている。ミーティングでは、事前に送付しておいた質問リストに対して回答を受けた(詳細については各委員の個別報告書を参照)。ミーティング後にディナーを共にしながら相互の親睦を深めた。インドネシアでも日本のアニメは人気があり、Achmad氏の二人の子息とは、日本のアニメについて話がはずんでいた。



(8) 市場調査

実施日：11月7日(金)

空き時間を利用して模造品の販売実体を調査すべくジャカルタ市内にあるいくつかの商業施設を視察した。比較的に新しいモールや高級志向のモールでは模造品を見かけることは少ないが、一部のモール(例えば、マンガドゥアモール)では、海賊版CD, DVD, ゲームソフトが溢れていた。改正著作権法では、個別店舗における著作権侵害に対してモール運営者にも管理責任を問えるようになるため、モールでの海賊版販売の減少が期待される。



以上